



東中だより

第4号

～チャレンジ目標～

【あいさつ・そうじ・自走】

宇部市立東岐波中学校

令和8年7月17日発行



CSシンボルマーク・きわぞう

一学期69日間の学びを終えて



学期末を迎え、子どもたちは日々の学びや行事を通して大きく成長しました。教室では、互いの考えを尊重しながら学び合う姿が多く見られ、友だちとの関わりの中で自分の良さを発揮する場面も増えてきました。保護者の皆様には、家庭での温かな支えや学校へのご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

終業式では、武道に伝わる「残心」という言葉を紹介しました。やり遂げた後の心配り、感謝の心を表す行為です。教室や校庭、体育館を整え、道具を片付け、使用した場所に礼をする姿は、まさに「残心」の表れです。こうした心が学校を整え、次の行動への弾みをつくります。

明日から38日間の夏休みが始まります。夏休みは、学期中にはできない体験ができる貴重な期間です。安全に気をつけながら、家族や地域での活動を通して視野を広げ、心身ともに健やかに過ごしてほしいと願っています。新学期には、さらに成長した皆さんに再び会えることを楽しみにしています。

メディアとの付き合い方を考える

7月2日（木）に2年生は、メディアコントロール週間を振り返り、メディア使用の課題や自分のヒヤリハット体験を共有しながら、望ましい使い方について話し合いました。



その内容を踏まえ、7月6日（月）には学校運営協議会委員さんや保護者の方々とともに「熟議」を行い、「なぜヒヤリハットが起こるのか」「どのように対処すればよいのか」について意見を交わしました。そして、大人の視点も参考にしながら、自分たちが納得できるルールづくりに挑戦したことは、生徒にとって大きな学びとなりました。

お忙しい中ご参加いただいた保護者・地域の皆さまには、心より感謝申し上げます。今回の熟議は、メディアとの付き合い方を考えるだけでなく、地域の大人と対話する貴重な機会となりました。

安全・安心な学校に向けて！

6月22日（月）、毎年計画的に実施している火災避難訓練を行いました。



訓練直前には東京の小学校で火災事故が発生したこともあり、生徒たちはこれまで以上に緊張感をもって訓練に臨みました。訓練後には、防災アドバイザーから「煙を吸い込まないよう姿勢を低くする」など、実践的な助言をいただきました。

この夏、私たちの挑戦が始まる

7月11日（土）のサッカー大会を皮切りに、県内各地で選手権大会が始まっています。全国大会へとつながる一年で最も大きな大会であり、3年生にとっては集大成となる最後の大会です。これまで積み重ねてきた努力と経験を、今大会で存分に発揮してくれることを期待しています。

今回は、各部（チーム）の代表者に大会への意気込みを語ってもらいました。

	コートに立つ選手だけでなく、応援を含めた全員の力を結集し、勝利をつかみにいきます。一球一球を大切にし、チーム一丸となって強い気持ちで戦い抜きます。 【女子ソフトテニス部】
	10人という少人数ながら、互いに支え合い、励まし合って努力を続けてきました。最後まで悔いなく戦い抜き、中学校生活最後の大会でベスト8を目指します。 【バレーボール部】
	これまで教わったことを最大限に生かし、自分の限界を超えて挑みます。そして、最後の試合を仲間とともに全力で楽しみます！ 【陸上競技部】
	支えていただいた家族・先生・コーチへの感謝の気持ちを胸に、歴史と伝統のあるソフトボール部の最後の大会を、笑顔で終えられるよう全力を尽くします。 【ソフトボール部】
	悔いを残さないよう、最高の状態でコンクールに臨み、7分間にこの夏の努力のすべてを出し切ります。 【吹奏楽部】
	初めての県大会。出場できなかった3年生の想いを胸に、今持てる力のすべてを発揮して勝ち進みたいです。 【日の山クラブ】
	地区予選以上に、全員で力を合わせて優勝をめざします。そのために、一人ひとりが自分の役割を果たし、最後まで全力で戦います。 【宇部SC】
	初めて県大会に挑みます。まずは2回戦突破をめざし、全力で戦います。 【東岐波ジュニア】